

坂東市 議会だより

2016.5

No. 45

city council public information BANDO

発行 坂東市議会
編集 議会だより編集特別委員会 〒306-0595 茨城県坂東市山2730番地
TEL 0297-35-2121(代) / 0280-88-0111(代) URL <http://www.city.bando.lg.jp>



第5回 レンゲまつり（七郷中川土地改良区内）

平成28年 第1回定例会

- 2 会期日程
- 3～4 議案説明
- 5～6 予算特別委員会
- 7～9 定例会審議結果
- 10～16 一般質問
- 17 委員会審査報告
- 18 議会日誌・行政視察来市・編集後記



平成28年 坂東市議会

第1回 定例会

3月3日から3月16日まで14日間

第1回定例会では、初日に28年度の一般会計予算をはじめ各特別会計、水道事業会計、条例の制定・改正や補正予算など51議案が提出されました。

最終日には、土地の取得について及び人事案件3件、議員提出議案2件が提出され、それぞれ7～9ページの表のとおり決まりました。

会 期 日 程

日次	月 日	曜日	区 分	議 事 日 程
1	3月3日	木	本会議	開会、会期の決定、議案上程、説明、質疑、委員会付託、採決
2	3月4日	金	委員会	総務常任委員会 教育民生常任委員会
3	3月5日	土	休 会	
4	3月6日	日	休 会	
5	3月7日	月	委員会	産業建設常任委員会
6	3月8日	火	委員会	予算特別委員会
7	3月9日	水	委員会	予算特別委員会
8	3月10日	木	休 会	議案調査
9	3月11日	金	休 会	議案調査
10	3月12日	土	休 会	
11	3月13日	日	休 会	
12	3月14日	月	本会議	一般質問
13	3月15日	火	休 会	議案調査
14	3月16日	水	本会議	委員長報告、質疑、討論、議案上程、説明、採決、同意、閉会



主な議案の説明

第1回定例会に提出された主な議案について、内容を要約してお知らせします。

■議案第1号

既定の予算総額に1829万6千円を追加し、予算総額を290億2616万3千円としたものです。

歳出については岩井第二小学校体育館大規模改造事業の工事費用を追加したものです。

■議案第2号

消費者安全法の改正に伴い消費生活センターの組織及び運営等に関する事項を市の条例で定めることとなったため制定するものです。

■議案第3号

組織機構の見直しに伴い改正が必要となる4条例を改正するものです。具体的には、坂東市部等設置条例については事務分掌の移管、坂東市立猿島資料館の設置及び管理等に関する条例では施設名の変更、坂東市農業振興地域整備促進協議会条例では庶務担当課の変更、坂東市公共施設の暴力団排除に関する条例では施設名の変更をするものです。

■議案第4号

地方公務員法の一部改正により適用条項の変更をするものです。

■議案第5号

特別職報酬等審議会の答申により家庭相談員の報酬月額を引き上げ、防災パトロール員を新たに追加するものです。

■議案第6号・7号

特別職報酬等審議会の答申及び平成27年人事院勧告により改正するもので、市長給料月額を29年4月17日から81万円を85万円に、副市長給料月額を28年4月から65万5千円を68万7千円、教育長給料月額を28年4月から59万6千円を62万5千円に引き上げ、さらに市長、副市長、教育長及び議会の議員の期末手当の改正、一般職の職員の給料及び勤勉手当等を改正するものです。また市長、副市長、教育長及び議会議員の期末手当を0.05月引き上げ、一般職員の給料表を改定し27年4月から適用するとともに勤勉手当を0.1月引上げるものです。

■議案第8号

高齢者の増加に伴い平成28年10月より新たに地域包括支援センターを市の直営により設置することに伴い、介護予防支援計画の策定等を行うため、新たな特別会計を設置するものです。

■議案第9号

平成28年4月1日より神大実幼稚園が認定こども園ひまわりに統合されるため、坂東市立幼稚園条例にある神大実幼稚園の名称及び位置を削除するものです。

■議案第10号

現行の岩井地域9分館に加え、猿島地域に新たに3分館が設立されることに伴い改正するものです。

■議案第11号

坂東市岩井福祉センター「夢積館」における指定通所介護事業等を終了した事に伴い、業務内容の見直しと文言の修正を行うものです。

■議案第12号

認定こども園ひまわりの開園により、未利用施設となった旧岩井第二幼稚園において、放課後児童健全育成事業に利用する施設として、岩井第二小学校区の放課後児童クラブ館を設置するため改正するものです。

■議案第13号

「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令」の改正に伴い、坂東市指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例を改正するものです。

■議案第14号

「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令」の改正に伴い、坂東市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例を改正するものです。

■ 議案第15号

緑のスポーツ広場に多目的グラウンドが完成したことに伴い条例に追加し、スケートボードパークの使用時間の変更及び多目的グラウンドの使用期間、使用時間を加えるものです。



緑のスポーツ広場の
多目的グラウンド

■ 議案第16号

「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令」により、小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所の職員配置に係る特例として、当分の間、職員配置に係る保育士の配置要件弾力化に必要な基準を追加するものです。

■ 議案第17号

行政不服審査法の改正により、適用条項の変更や審査請求があった場合の手続き等の明記及び文言の整理等をするものです。

■ 議案第18号

農業委員会等に関する法律の改正により適用条項の変更をするものです。

■ 議案第19号

市道岩井746号線を国道354号バイパスと主要地方道結城坂東線バイパスの交差点が複雑になるため、県道中里坂東線の一部を付け替えて市道認定するものです。

■ 議案第20号・21号

隣接の土地所有者より土地の有効利用を図るため廃道払下げ申請があり、市道山321号線については終点を変更、市道山320号線については廃止するものです。

■ 議案第22号

隣接の土地所有者より土地の有効利用を図るため廃道払下げ申請があり、市道七郷460号線を廃止するものです。

■ 議案第23号・24号・25号

坂東インター工業団地計画により、七重東609、610号線を市道認定し、七重東371、487、553号線の終点を変更、七重東557、558、559号線を廃止するものです。

■ 議案第26号から第32号

「坂東市農産物直売所」、「坂東市都市公園八坂公園、中央児童公園」、「いなほの里」、「ふれあい館」、「ホロニック」、「芽吹の郷」、「みどりのさと」について指定管理者を指定するものです。

■ 議案第33号

既定の予算総額から9億2980万2千円を減額し、予算総額を280億9636万1千円とするものです。

歳入の主なものは、固定資産税7500万円、普通交付税1億2534万4千円、民生費国庫補助金1億4056万2千円、前年度繰越金3億1642万6千円、市税個人所得割1億2200万円、衛生費国庫補助金2億6600万円、商工費国庫補助金9956万7千円、土木費国庫補助金4億8853万3千円、繰入金3億490万7千円、都市再生整備事業債2億7100万円などを減額し、歳出の主なものは、財政調整基金積立金3億4351万8千円、臨時福祉給付金支給に要する経費1億4056万2千円、電算処理に要する経費5378万8千円を追加するものです。

■ 議案第50号

総合体育館耐震補強・大規模改修工事の契約について、4社による一般競争入札を行った結果、株式会社三共建設が4億1796万円で落札したので工事請負契約を締結しようとするものです。



工事予定の
総合体育館

■ 議案第51号

岩井第二小学校体育館耐震補強・大規模改造工事契約について、7社による一般競争入札を行った結果、古谷建設株式会社が1億7064万円で落札したので工事請負契約を締結しようとするものです。

■ 議案第52号

中心市街地の活性化を図ることを目的に、旧プリオ101跡地の岩井3278番1他13筆、5956.88平方メートルの土地を取得しようとするものです。

予算特別委員会 平成28年度一般会計265億円、特別会計及び 水道事業会計を合わせ総額469億3865万7千円の予算案を審査

3月8・9日に行われました予算特別委員会の質疑内容を要約してお知らせします。

歳入

問 市税の減額の要因は何ですか。また、今後どのように予測していますか。

答 都市部と地方での給与の格差、法人等の実績等が都市部ほど伸びなかったことが要因と考えられます。また、今後については、この地域には、地方の中小企業に勤めている方が多いので、そちらの法人の景気が上向けば、従業員である給与所得者の収入も上がると考えています。

問 法人税の1号から9号とはどういったものですか。

答 資本金の額、並びに従業者数によって分かれています。

問 都市計画税の増の要因は何ですか。

答 土地の平成27年度評価を大幅な減と見込んでい

たが減とならなかったこと、並びに都市計画区域の家屋の建設の増によるものです。

問 認定こども園のふたばとひまわりで保育料が違う理由はどういったことですか。

答 保育料を算出する場合、園児の年齢ごとの平均の保育料額を基に算出するためです。

問 住宅使用料が前年度より減りましたが、戸数が減ったのですか。

答 低所得者の減額対応の対象者が増えたため減額になっています。

問 ゴルフ場利用税の減額の要因は何ですか。

答 利用者の減を見込んで減額となっています。

問 斎場使用料は何件ぐらい見込んでいますか。

答 斎場使用料は市内の方は無料ですが、市外の方を20件、小動物が280件、その他、告別式や通夜等の部屋の使用料を見込んでいます。

問 生活保護費国庫負担金が減額になっていますがその要因は何ですか。

答 医療扶助費の減額を見込んだことによるものです。

問 ガラス工房使用料というのはどういうものなのですか。

答 ガラス工房については平成28年4月から6月までは市直営、7月からは指定管理者の指定管理で計画をしており、4月から6月までの入場者から徴収する使用料です。

歳出

問 防犯カメラはどこに設置されるのか伺います。

答 査掛の坂東インター付近、他4ヶ所を予定しています。

問 マイナンバーカードの取得状況はどのようなか伺います。

答 平成28年2月29日現在、申請者が2648名でカードができあがって坂東市に送付されているのが1664件、このうち交付済が434件です。

問 電算機器移設設定委託料とはどういうものですか。

答 新庁舎に、今現在使用しているサーバーと同じものを新規に立ち上げるものです。

問 ふたばとひまわりを含めた保育園の待機児童数はどれくらいいますか。

答 待機児童はいませんが、特定の園を希望している方で空き待ちをしている方は34名です。

問 臨時福祉給付金の支給率向上の方策はどのようなか。

答 文書配付、広報ばんどう及び通知等により支給率の向上を目指します。

問 ひとり暮らし高齢者「愛の定期便」事業とねたきり高齢者等介護慰労金の対象者は何人ですか。

答 ひとり暮らし高齢者「愛の定期便」事業の対象者

は244名、ねたきり高齢者等介護慰労金は237名に支給しています。

問 平成28年度は総合体育館が大規模改修工事のため使用できなくなるが、岩井地域の敬老会はどこで開催するのですか。

答 ベルフォーレで午前、午後の2回行う予定で計画しています。

問 省エネ型防犯灯(LED)設置工事費が計上されているが、市全体のLED化の進捗状況はどれくらいですか。

答 平成28年2月末現在で67.3%です。昨年が57.8%ですので約10%ずつ増加し

ている状況です。

問 医師養成奨学金貸付金の現在の状況はどうなっていますか。

答 現在は一人の方に貸付をしています。こちらについては、26年度に貸付をしまして28年度までの3年間の貸付です。

問 青年就農給付金で個人が6人、夫婦で1組2人とありますが、支援金の内容はどういうものですか。

答 個人の場合、年間150万円、夫婦の場合、年間225万円で農業を始めてから最大5年間、給付が受けられるものです。

問 米政策改革推進対策経費は米価の暴落に対してどのように働いて、効果をどのように期待しているのか伺います。

答 国からは、平成30年からは市から転作の配分を行わないことを示しています。また、国からの配分を達成し

た場合は、米に対しては10アールあたり7500円の補助金、また、転作については今までには休めばもらえた転作補助金、現在では販売する野菜などをメインに補助金を出している形になっています。

問 まちなか交流センターの工事請負費が計上されていますが、具体的な工事内容と完成予定について伺います。

答 工事内容につきましては、空調工事でエアコン等の設置22台、トイレ新設工事で、こちらは給排水設備工事を含めて、現在、合併処理浄化槽で処理しているものを下水道に接続するものです。また、電気設備工事、インテリア工事等です。完成予定は9月いっぱいを見込んでいます。

問 28年度の道路改良の延長はどのくらいになりますか。

答 1級道路については約870メートル、2級道路については約600メートル、その他の道路で約4500メートルを

予定しています。

問 防災パトロール員の業務の内容はどのようなのですか。

答 災害が発生、または発生が予想される時に各地域を回ってもらい正確な被害状況等を災害対策本部等に報告をしてもらうのが主な業務の内容です。

問 学級アセスメントテストとはどういうものですか。

答 一人一人の児童生徒の学級での満足度や学級集団の状態を把握することでより良い学級づくりに活かして、いじめや不登校の未然防止を図るための調査です。

問 サマースクールの小中学生の対象学年と実施期間について伺います。

答 対象は小学校6年生と中学校1年生です。実施期間については、夏休み中に3日間を予定しています。

討 論

28年度一般会計予算をはじめ各会計予算に対する討論

反対討論

藤野 稔 議員

28年度予算は265億円となっています。歳入では、市民税が1億3558万6千円減額となります。

歳出では、ビジネスホテル誘致に要する経費が計上されていますが、これが中心市街地の活性化と商業振興に繋がるかが疑問です。工業団地上水道施設整備事業や工業団地道路新設改良など約9億円計上している反面、市内の自営業者、中小企業への支援・振興対策が十分だとは言えません。農林水産業費では市独自の農業後継者対策を求めます。教育費で英語教育を進めるとして外国語指導助手配置に要する経費が計上されていますが、小学校低学年からの英語教育には様々な疑問、批判が提起されています。

地方自治体が市民の健康、安全と暮らしを守ることを求められていることを訴え、一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、水道事業の各会計予算に対する反対討論とします。

賛成討論

染谷 栄 議員

28年度一般会計予算は対前年度比15億円、5.4%減の予算です。減の主な理由是新庁舎建設事業、坂東インター工業団地の水道施設整備事業などによるものです。

歳入は、企業の設備投資などが改善し、固定資産税は増額しましたが、企業収益の改善は見られず、法人市民税が減額になるなど厳しい財政状況であり、国・県補助金の活用などにより財源を確保して対応しています。

歳出では、都市基盤・安全対策の推進をはじめ、坂東インター工業団地関連の道路整備や圏央道へのアクセス道路の整備、子ども発達センター「つくし」での早期の発達支援、子育て支援員の新たな配置、観光交流センター秀緑の整備、工業団地の分譲、長須小学校校舎大規模改修工事、茨城国体に向けた総合体育館の耐震化及び大規模改修工事など重要施策に重点配分された予算であり、28年度一般会計予算及び全ての特別会計並びに水道事業会計予算に賛成するものです。



平成28年第1回定例会審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度坂東市一般会計補正予算(第7号))	原案承認
議案第2号	坂東市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例	原案可決
議案第3号	坂東市部等設置条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第4号	坂東市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第5号	坂東市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第6号	坂東市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第7号	坂東市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第8号	坂東市特別会計条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	坂東市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	坂東市立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	坂東市福祉センターの設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	坂東市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	坂東市指定地域密着型サービスの事業の人員、設置及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第14号	坂東市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第15号	坂東市緑のスポーツ広場の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第16号	坂東市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第17号	行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
議案第18号	農業委員会等に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決

議案番号	議 案 名	結 果
議案第19号	市道路線の認定について	原案可決
議案第20号	市道路線の変更について	原案可決
議案第21号	市道路線の廃止について	原案可決
議案第22号	市道路線の廃止について	原案可決
議案第23号	市道路線の認定について	原案可決
議案第24号	市道路線の変更について	原案可決
議案第25号	市道路線の廃止について	原案可決
議案第26号	指定管理者の指定について	原案可決
議案第27号	指定管理者の指定について	原案可決
議案第28号	指定管理者の指定について	原案可決
議案第29号	指定管理者の指定について	原案可決
議案第30号	指定管理者の指定について	原案可決
議案第31号	指定管理者の指定について	原案可決
議案第32号	指定管理者の指定について	原案可決
議案第33号	平成27年度坂東市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
議案第34号	平成27年度坂東市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第35号	平成27年度坂東市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第36号	平成27年度坂東市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第37号	平成27年度坂東市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第38号	平成27年度坂東市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決



議案番号	議 案 名	結 果
議案第39号	平成27年度坂東市工業団地整備事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第40号	平成27年度坂東市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第41号	平成28年度坂東市一般会計予算	原案可決
議案第42号	平成28年度坂東市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第43号	平成28年度坂東市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第44号	平成28年度坂東市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第45号	平成28年度坂東市介護事業特別会計予算	原案可決
議案第46号	平成28年度坂東市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第47号	平成28年度坂東市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第48号	平成28年度坂東市工業団地整備事業特別会計予算	原案可決
議案第49号	平成28年度坂東市水道事業会計予算	原案可決
議案第50号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第51号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第52号	土地の取得について	原案可決
議員提出議案 第 1 号	別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備に関する意見書	原案可決
議員提出議案 第 2 号	茨城県立岩井高等学校の中高一貫校への改編を求める決議	原案可決
同意第1号	副市長の選任について (南雲 仁氏)	原案同意
同意第2号	教育委員会委員の任命について (井口 理恵氏)	原案同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (針替 茂夫氏)	原案同意
平成28年 請願第1号	別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備に関する請願	採 択
平成28年 請願第2号	別居・離婚後の親子の断絶を防止する公的支援を求める請願	継続審査



かざ み まさ かず
風 見 正 一 議員

昨年6月17日に公職選挙法の改正が国会で成立し、ことし7月の参議院選挙への適用が想定されています。

問 高校生に対する取り組みについて、学校現場ではどのような対応をとっているのでしょうか。また、主権者教育に対する具体的な施策の実施を通じてアピールしていくことも重要と考えますがいかがでしょうか。

答 県立高校2校におきましては、文部科学省が策定した「私たちが拓く日本の

18歳選挙権に向けた主権者教育等の取り組みについて

未来」という主権者教育に関するリーフレットを各生徒に配布していますので、それを使って、公民科等の中で啓発していただけるよう働きかけているところです。施策を通じてのアピールということですが、小・中学校の児童・生徒については、代表の児童・生徒が市政への質問や提言を行う、いわゆる子供議会を平成28年度から実施したいと考え、検討しているところです。

問 若い世代の政治や選挙、社会参加などに関する意識をどのように把握しているか伺います。

答 主権者教育の重要性につきましては認識しているところです。4月から組織機構を見直し、18歳選挙権の引き下げに伴う専門部署として企画課内に青少年社会参加

推進室を設けていきたいと考えています。若い世代の意識調査が重要になってくると思われますので、課題の把握、分析、対策等の検討を早急に行い、さらにはこの結果を踏まえて事業展開につなげていきたいと考えています。

問 今年実施される参議院選挙の際に、期日前投票期間中の1日を選んで、市内の高校2校に期日前投票所を設置してはどうかと考えますがいかがでしょうか。

答 期日前投票所については、高校生だけでなく一般の方も入りますので、開設が可能であるか十分に調査、検討しなければならないと考えています。

坂東市人口ビジョン「生涯活躍のまち」構想について

「生涯活躍のまち」構想とは、元気な高齢者が社会参加できる環境づくりや生きがいづくりを推進するとともに、東京圏からの高齢者移住施策にも取り組み、生涯現役で健康長寿社会の構築を目指すものです。

問 「生涯活躍のまち」構想に取り組むとした場合、そのメリット、デメリット、またそのKPI*はそれぞれどのように想定されているか伺います。

答 メリットとしては、高齢者を迎え入れますと人口減少の対策にもなる、または地域の活性化につながるということです。この構想が進むと、新規の雇用、ビジネスなども創出され、そのために若者の雇用にも将来つながっていくのではないかと考えられます。デメリットとしては、医療費や介護保険などの負担が増加されるということが最

大の懸念をしているところです。国のほうでは、現在この構想の実現に向けた制度化とか、介護保険の財政調整の見直しなどが検討されているようですが、そちらのほうの推移にも注意していきたいと考えています。坂東市としても、定住人口の増加という観点から、この「生涯活躍のまち」構想についても、今後十分に調査、検討していきたいと考えています。

問 坂東市への50代以上のUターン、Iターンの促進に積極的に取り組んではいかがでしょうか。また、生産年齢人口の減少が進んでいますが、今後の推移をどのように予想しているのか伺います。

答 Uターン、Iターンについては、今後状況を分析して、課題等も含めながら検討していきたいと考えてお

ります。徐々にではありますが、農業関係で入ってきている状況もあり、魅力があるような仕組みを考えながら、基盤を整備していきたいと考えています。人口については、人口そのものも減りますが、生産年齢人口も減少するということを考えると、高齢者の方々に元気でいていただき、就業の場も確保しながら、生産年齢人口を伸ばすということが肝心かと思えます。外からの元気な高齢者の方々を呼び込むのも定住人口増加のひとつですし、出生率を伸ばすこと、若い人の定住化、流出を防ぐということも大変重要かと思えますので、今後十分に検討していきたいと考えています。

「KPI」とは……組織や事業、業務の目標の達成度合いを計る定量的な指標のこと



あお き かず ゆき
青 木 和 之 議員

坂東まちづくり会社は、観光交流センター「秀緑」と、まちなか交流センターの2つの施設を拠点に、まちなかの魅力と資産価値を高め、まちなかの再生を目指すという目的で、第三セクターの株式会社として4月に設立となっております。

問 坂東まちづくり株式会社の役員の選出について伺います。また事業の内容ごとに価値観やリスクを判断しているのか伺います。

答 第2回坂東まちづくり株式会社発起人会において、取締役6名のうち5名の候補者を委員の推薦により選

観光交流センター「秀緑」の管理運営について

出しました。監査役は筑波銀行と常陽銀行、代表取締役社長候補については、公募により選出することとし、今後応募いただいた8名の面接を実施し、最終1名を決定します。事業の価値観、リスクについては、この事業がまちづくりの中で重要性が高い、またこの事業は収益性がどういふような形になっているか、そういったところを相互に十分検討しながら、事業の計画をしていきたいと考えます。

問 事業が軌道に乗り利益を上げられたときに、どのように市に還元されていくのでしょうか。また赤字決算になってしまった場合、どのような対策をとるのでしょうか。

答 利益剰余金が発生したときには、その一部を納付金として市に還元するもののほか、新たなまちづくり事業に投資をするようなことです。また、納付金については、

今後協定書の中で取り決めることになっています。赤字決算のときの対応については、まだ事業はこれからということですので、現時点では赤字決算ということは想定していません。



秋にグランドオープン予定の
観光交流センター「秀緑」

市道路・橋りょうの改良、維持について

市民にとって市政に一番望むことは、毎日の生活の中で利用している市道や排水路が新設されたり、補修されたり、改良されることだと思います。

問 市道や排水路の新設や補修等の要望は、毎年どのくらいあげられていますか。また、合併して10年になりますが、その間出された要望でも、まだ補修等が進まずに残っている要望はどれくらいあるのか伺います。

答 要望箇所数は、合併後11年間の平均で申しますと、年24件、距離にして年7.8キロメートルです。そのうち合併後整備して残りの件数ということですが、いろいろな申

請があり、全て整備しているということではありませんので、残り何年かかるかはわかりませんが、過去5年間の整備の延長は年に約7.5キロメートル整備しています。

問 今後どのような事業を優先して行う計画をしているのでしょうか。また生活に密着した道路の計画がありましたら伺います。

答 改良計画については、国や県の補助事業があるかないか、あるいは優先すべき道路かどうかを判断して実施しています。時期によって重点箇所が異なりますが、現在の整備計画については圏央道の開通、坂東インター工業

団地分譲に向け、インターチェンジ周辺あるいは工業団地関連の道路を優先し、整備計画をしています。生活道路の整備については、まず交通危険箇所、排水不良箇所、それから学校周辺、通行量等を考慮して順次実施しています。



工事が進められている
坂東インター周辺



あお き ひろ み
青 木 浩 美 議員

秋には新しい坂東市役所の庁舎ができるわけですが、高齢化が進む中、お年寄りの方は猿島庁舎までも遠く感じているところ、さらに遠くなってしまうという心配の声がたくさん聞かれます。

問 現在、猿島庁舎にある各課、また教育委員会等は全部新庁舎のほうに移ってしまうのでしょうか。総合窓口は置いておくということを聞きましたが、具体的には、

猿島庁舎について

どのような形で総合窓口並びにその他の施設を残すのか伺います。

答 新庁舎へは、今、猿島庁舎にある保健福祉部、産業経済部の一部の課、農業委員会、教育委員会及び議会などの各課が移ることとなります。各種証明や住民異動に伴う各種手続などの窓口業務ですが、これまで猿島庁舎を利用されていた皆様に不便をかけないように対応をしていきたいと考えています。猿島庁舎については、今後総合窓口設置のための改修工事を行い、新庁舎の総合窓口と同様の市民サービスを提供していけるような体制で考えています。

また、全体的な猿島庁舎の跡地の利活用も、現在猿島地域の有識者の方々に、検討委

員会で検討いただいております、その意見を踏まえながら早期に検討していきたいと考えています。



猿島庁舎の窓口センター

坂東市の事業について

新庁舎をはじめ「秀緑」跡地などの開発がされていますが、市民からは市の事業がまちなかに集中していないだろうかというような声がよく聞かれます。

問 圏央道が坂東市を通り、またインターもできることで、坂東市の発展が期待されます。今行っている事業は、坂東市発展には大切な事業だということは重々理解してはいるつもりですが、まちなか以外にもやらなくてはならない危険場所等の工事や事業があるのではないのでしょうか。

例えば、西仁連川に架かる古い橋、市道の橋の下は、先日起こった集中豪雨をはじめ、流水により土手の部分が浸食されて危険な状態の場所が複数あります。このような危険場所等を市としては把握しているのでしょうか。また、そ

ういう危険場所の工事をする予定などはあるのか伺います。

答 昨年の豪雨被害の結果を見ても、人命にかかわるということで、治水事業については優先し対応すべき事業と考えております。茨城県管理の河川の危険箇所については、市のほうから改修等要望しており、西仁連川の山地内で越水危険箇所がありましたが、昨年堤防の嵩上げが実施されました。また、現在、飯沼川、東仁連川、横仁連川の一部堤防の低い箇所については、改修の準備中と聞いています。市で管理する橋梁については、約180橋あり、この180橋を3年かけて調査し、その結果に基づき橋梁の架けかえ、あるいは補修して長寿命化を図るという作業を現在行なっています。これまで、15メートル以上の61橋の調査を実施しました。最終的に

は、180橋の調査が終わってから、順番を決めて実施していくことになると思いますが、既に震災後危険ということで、現在天神橋、金崎橋の架けかえを実施しています。西仁連川については、境工事事務所と市と合同で河川の点検を行い、危険度の高いものから県で改修をしていただくことで進めています。今後の点検の結果を待ち、整備計画を立てる予定になっています。



架け替えが行われた天神橋

その他の質問事項

- ・小中学校の学力テストについて



さくら ひろみ
桜井 広美 議員

国土強靱化基本法では、地方公共団体の責務を明記するとともに、都道府県または市町村は国土強靱化地域計画を定めることができると明記されています。

問 国土強靱化地域計画の策定については、大規模自然災害等から市民の生命、財産を守ることを最大の目的として、そのための事前の備えを効率的かつ効果的に行うとの観点から、早急に策定、公表すべきであると考えています。そこで、当市の策定状況はどのようなか、また、今後その内容等については、どの

国土強靱化地域計画の策定に向けた取り組みについて

ようなものを検討され取り組んでいくのか伺います。

答 平成27年3月に本市を含む茨城県西南部地域の6市町で構成する勉強会で、当該地域の強靱化に向けた課題や目標等について取りまとめを行ったところで、今後、茨城県の国土強靱化地域計画を踏まえ、さきの6市町の取りまとめ結果をベースとし、坂東市さらには広域的な防災、減災の見地から、地域の強靱化に向けたハード、ソフト両面からの検討を進めていきたいと思っています。この国土強靱化については、特定の災害を念頭に置いたものではなく、あらゆる自然大災害を踏まえた形での計画になるかと思えます。

問 いつごろまでに計画を策定すればいいのか、また、ほかの分野においても計画策定が複数あると思えます

が、この地域計画の優先順位について伺います。

答 国土強靱化に関しては各種計画の指針になり、影響を及ぼすということから、速やかな策定が望まれているところです。坂東市としては28年度に庁内での検討に着手し、県の国土強靱化地域計画が決定した段階で県との調和を図り、可能であれば28年度中ぐらいにはつくっていく必要があると考えています。



新オレンジプランの推進について

新オレンジプランについて、2月に茨城県保健福祉部長寿福祉課より主に市町村で取り組む施策を中心に学習させていただきました。

問 新オレンジプランは、省庁横断で認知症対策に取り組むとした初の国家戦略です。平成29年までに市町村が取り組むべき施策が具体的に示されていますが、当市の取り組み状況は現在どのようなか、どのように進められているか、また、介護中であることを周囲に理解してもらうために作成された介護マークの活用状況はどのようなか伺います。

答 認知症サポーターの養成については、地域包括支援センターにおいて講座を

行っており、平成28年2月末現在で3240人という状況です。認知症高齢者の見守り事業については、民生委員の皆様にご協力をいただき、高齢者のみの世帯及び、ひとり暮らしの高齢者の世帯について見守りを行っている状況です。また、昨年3月に、いばらきコープ及びパルシステム茨城と見守り協定の締結をさせていただいております。また、ひとり暮らしの高齢者の方に、週に2回、乳製品を届け、安否確認を行う坂東市ひとり暮らし高齢者「愛の定期便」事業も実施しています。また、徘徊の見られる高齢者については、GPSを使用した位置情報端末の貸し出しも行っています。成年後見制度の活用

や相談、虐待を受けた方または家族の方からの相談については、地域包括支援センターが窓口となって対応を行っている状況です。介護マークの普及、活用状況については、平成24年10月より、要介護1から5の方を介護する方で、介護マークを必要とする意思表示をされた方に配布させていただいていますが、低い利用状況ですので今後は、さまざまな機会をとらえPRを行っていきたいと考えています。



介護マーク



ふじの 野 みのる 稔 議員

ＴＰＰが参加12カ国で大筋合意され、安倍内閣は3月8日にＴＰＰの本体の承認案と関連法案を閣議決定し、国会へ提出しました。

問 ＪＡグループ茨城では、独自の県内農畜産物への影響額を公表しており、それによると、今後国内で対策が講じられなかった場合、県内生産額の減少は年間649億円とされていますが、坂東市としてはどのような影響があり、その額は幾らと試算しているのか伺います。

答 坂東市の農業への影響ですが、直近の数値がありませんので、統計資料によ

ＴＰＰ（環太平洋戦略的経済連携協定）について

ります平成18年度ベースにより、茨城県農林水産物への影響試算を参考に計算をしてみますと、産出額への影響については、平成18年度比で約1億1000万円から2億2000万円ということで試算をしているところ です。

問 県内では、レタスが16億4100万円、ネギが13億6500万円の減少との試算がされています。坂東市の特産であるレタスやネギにも影響が出ることは明らかですが、ＴＰＰによる影響に対してどのような対策が必要か、坂東市としての対策はどのようなか伺います。

答 ＴＰＰによる影響への対策ですが、農林水産省ＴＰＰ対策本部が示した農林水産分野におけるＴＰＰ対策案では、2大方針とし、重要5品目を中心に経営安定、安定供給へ備えた措置の充実を図ること、また、成長産業化に取り組む農業者を応援す

ることが掲げられており、前者は守りの対策、後者は攻めの対策として位置づけられているところ です。

守りの対策としては、経営所得安定対策の継続や農業者の収入補填の引き上げ等があります。また、攻めの対策としては、担い手育成支援の充実、地域の強みを生かした改革支援、収益力、生産基盤強化支援の充実等があります。

市としても、これらの支援策を積極的に展開しながら、国際競争、価格競争に対抗できる産地づくりとともに、高品質、高付加価値生産による収益性の高い農業の推進に努めていきたいと考えています。



岩井西高等学校跡地利用について

市当局から岩井西高等学校跡地の利用計画の説明がありました。

問 説明では、利根町にあるタイケン学園が別科として利用する、ベトナム人を中心に学生を入学させるということでしたが、その詳しい内容を伺います。また、市としての考えを伺います。

答 先ごろ利根町にあります日本ウェルネススポーツ大学等の学校を運営する学校法人タイケン学園で、ベトナムなどを中心に台湾等のアジア諸外国からの留学生を受け入れる大学の別科として活用できないかということで検討をしているということです。

その後の状況を見て、この大学では、この別科のほかに専門学校等も併設していきたいというふうな考えを持っているようでした。

この開校に当たり、現在の岩井西高等学校の施設は、耐震補強がされている部分等もありますが、給排水など改修する必要があり、そちらの建物の整備についても現在検討しているような状況です。いずれにしても、敷地や建物の所有は、今現在まだ茨城県であることから、市や県、または今回計画をしているタイケン学園と、さらに詳細を詰めていきたいと考えています。

また、市としてはいろいろな経済効果や、教育の質の向

上も期待をし、できる限りの支援をしていきたいと考えています。



岩井西高等学校跡地

その他の質問事項

- ・太陽光発電について
- ・子どもと高齢者の集える施設について



ご とう はる お
後 藤 治 男 議員

県の第2次県立高等学校再編整備の基本計画では、岩井高校と坂東総合高校との統合を平成32年度までに実施すると発表がありました。

問 斬新な魅力ある統合の1つの案として、中・高一貫校を思い切って取り入れたらどうでしょうか。単なる統合では、坂東市から近い将来、高等学校がなくなってしまうのではないかと危惧しています。坂東市としての考えを伺います。

答 県が策定しました統合計画が真に目的やねらいを達成して、地域の高校として活気を取り戻すことができるよう、またやる気と元気のある教員の配置や施設設備の充実などを優先的に行っていただけのように、県に対して引き続き強く要望していききたいと思います。中・高一貫教育学校については、岩井高校と坂東総合高校の統合を踏まえまして、勉強させていただければと思います。



岩井高等学校

県立岩井高等学校と坂東総合高等学校との統合について



坂東総合高等学校

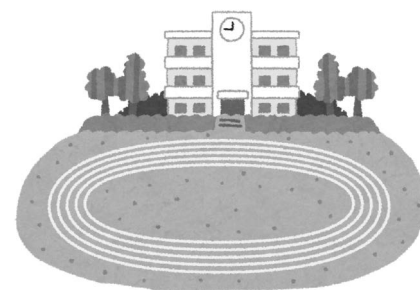
問 地元で一生懸命やってくれる高校があって、その高校に進学できれば経済面でも助かるし、その結果、地元で定着する人口が増えれば坂東市の将来が明るくなると思っています。ぜひ、多くの力を結集して一貫校教育の研究もしていただき、できるだけ早く実現できるような土壌をつくっていただきたいと思います。

答 中高一貫教育の導入については、メリット、デメリットをきちんと整理した上で、数々の課題を解決していかなくてはならないと思います。しかし、市全体として中高一貫校を要望していくという姿勢が実際に整いましたら、私も県とのパイプ役として、また坂東市の教育長として地元高校の活性化に向け議員の皆様と市民の皆様、一体となり一生懸命取り組んでいきたいと考えています。

問 坂東市の場合は小学校、中学校、高校と1つのカリキュラムで英語に堪能な子供たちをつくるという目標を掲げれば、周りの人の見方も変わるのではないのでしょうか。新しい風を吹かすには、イメージを一新することも大事だと思います。岩井高校の進学率が上がらないというのはイ

メージもあるのではないかと考えています。それを一新するためには、新しいタイプの学校にするということを特に希望したいと思いますが、教育部長は地元出身ですので教育長と違う考えがありましたらお願いします。

答 岩井高校の魅力ある学校づくりには賛同して努力をしていきたいと思っています。坂東市内の英語教育ですが、27年度は英語担当の指導主事が幼稚園あるいは認定こども園等に行き、英語で親しめる、英語で遊べるような形での指導も若干しています。中学校では、インタラクティブ・フォーラムの県大会で上位に入選することが数多くあります。さらには、福島県天栄村ブリティッシュヒルズに小学6年生、中学1・2年生が行き、施設内では英会話のみで3日間過ごし簡単な英会話ができるようになったという状況でした。教育長ともども皆さんの考え方がまとまれば私も応援させていただきたいと思っています。





たきもと てるよし
滝本 輝 義 議員

J A 農協の加倉井会長は、T P P による県内への影響は農畜産物が年649億円減と試算しており、特に豚肉については最大で224億円とのことです。坂東市に直接影響が懸念されるのは生鮮野菜のネギやレタス、白菜等ではないかと思われます。

問 大筋合意を実施した場合、坂東市としてT P P 対策の対抗的な骨子があれば伺います。また、基幹産業である農業についてどの程度影響があるのか、また減収が懸念される作物等についても伺います。また、政府方針である攻めの農業と言われる農産物の海外輸出は、坂東市の特産の猿島茶の戦略的な考えがありましたらお聞かせ願います。

坂東市としての環太平洋戦略的経済連携協定 (T P P) の取り組みについて

答 今後の農業を牽引する優れた経営感覚を備えた担い手を育成し農業構造の強化を図り、もうかる農業の実現に向け新たな農業経営に取り組んでいきます。また、収入補填などの経営安定対策では、普通作を中心に経営所得安定対策の加入を促進するとともに、農業共済制度などセーフティネットへの加入を進めていきたいと思っています。さらに、生産基盤の整備による農地の集約や利用の集積、機械化一環体系の確立による生産コストの低減、6次産業化や高品質生産、ブランド化を推進し、国際競争力の強化に努めていきたいと思っています。猿島茶については新商品の開発や緑茶が持つ機能性等をP Rしながら、消費拡大に努めていきたいと思っています。

問 猿島茶は日本で最初に海外輸出されたということで伝統あるお茶です。茨城県にあるジェトロと相談して猿島茶の販売で、レタスやネギなど下落した分を取り返すような攻めの姿勢が必要と思

いますが、市の考えをもう一度伺います。

答 猿島茶の6次産業化、またその輸出についてですが、今後市内の生産者の方と相談しながら、県普及センター、ジェトロ等とよく協議をし検討していきたいと思っています。



猿島茶の収穫の様子

F C (フィルムコミッション) の坂東市への誘致について

24年度までに29件のフィルムコミッションの受け入れを行い、今後は県のフィルムコミッション推進室や関係機関と調整を図り、積極的な誘致やP R活動の推進をしていくとのことでした。

問 24年度以降の受け入れ件数やP R活動等の状況、中心市街地活性化等や地域に残る自然等を踏まえた今後の計画について伺います。

答 当市においてF C 推進の課題の1つの宿泊施設については、本年12月にビジ

ネスホテルが開業することとなり、F C 事業も大きく前進するものと期待しているところです。今後は、観光ボランティアの確保、市民協働による誘致、推進体制の強化等の課題解決に取り組みながら、新たな誘致、資源の発掘に努めていきたいと考えています。また、ロケの誘致件数ですが、25年が2件、26年が5件、27年が5件でした。

問 産業経済部だけで活動することは難しいと思いますので、企画課なども一緒

になって活動していただけたらと思いますがその点について伺います。

答 4月から企画課内にシティブロモーション係を設置しますので、産業経済部と連携しながら今後進めていきたいと思っています。

その他の質問事項

- ・運動会での安全確保(組体操等)についての取り組みについて



委員会審査報告

各常任委員会及び、予算特別委員会に付託された議案の審査を行いました。

総務常任委員会

審査案件

- 議案第 3 号 坂東市部等設置条例等の一部を改正する条例 【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第17号 行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例
【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第33号 平成27年度坂東市一般会計補正予算(第8号) 【全会一致により可決すべきものと決定】

教育民生常任委員会

審査案件

- 議案第10号 坂東市立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例
【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第12号 坂東市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第50号 工事請負契約の締結について 【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第51号 工事請負契約に締結について 【全会一致により可決すべきものと決定】
- 請願第 1 号 別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備に関する請願
【全会一致により採択すべきものと決定】
- 請願第 2 号 別居・離婚後の親子の断絶を防止する公的支援を求める請願
【全会一致により継続審査とすべきものと決定】

産業建設常任委員会

審査案件

- 議案第 2 号 坂東市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例
【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第19号 市道路線の認定について 【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第20号 市道路線の変更について 【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第21号 市道路線の廃止について 【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第22号 市道路線の廃止について 【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第23号 市道路線の認定について 【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第24号 市道路線の変更について 【全会一致により可決すべきものと決定】
- 議案第25号 市道路線の廃止について 【全会一致により可決すべきものと決定】

予算特別委員会

審査案件

- 議案第41号 平成28年度坂東市一般会計予算 【賛成多数により原案可決すべきものと決定】
- 議案第42号 平成28年度坂東市国民健康保険特別会計予算【賛成多数により原案可決すべきものと決定】
- 議案第43号 平成28年度坂東市後期高齢者医療特別会計予算【賛成多数により原案可決すべきものと決定】
- 議案第44号 平成28年度坂東市介護保険特別会計予算 【賛成多数により原案可決すべきものと決定】
- 議案第45号 平成28年度坂東市介護事業特別会計予算 【全会一致により原案可決すべきものと決定】
- 議案第46号 平成28年度坂東市公共下水道事業特別会計予算【全会一致により原案可決すべきものと決定】
- 議案第47号 平成28年度坂東市農業集落排水事業特別会計予算
【全会一致により原案可決すべきものと決定】
- 議案第48号 平成28年度坂東市工業団地整備事業特別会計予算
【全会一致により原案可決すべきものと決定】
- 議案第49号 平成28年度坂東市水道事業会計予算 【賛成多数により原案可決すべきものと決定】

議会日誌

1月から3月までの議会活動を紹介します。

1月

- 14日 議会だより編集特別委員会
- 15日 茨城県市町村負担金審議会（水戸市）
- 19日～20日 議会運営委員会視察研修（三島市）
- 21日 坂東市賀詞交歓会
- 26日～27日 茨城県市議会議長会定例会（神栖市）

2月

- 3日 広域連携市議会協議会総会（都市センター）
- 4日 茨城県市議会議長会視察研修（東海第二原子力発電所）
- 9日 全国市議会議長会評議員会（都市センター）
- 16日 地下鉄8号線に係る茨城県知事要望（県庁）
茨城県市議会議長会第二回議員研修（筑西市）
- 23日 茨城西南広域市町村圏事務組合議会定例会
- 24日 全員協議会
- 25日 議会運営委員会

3月

- 3日 定例会 開会
- 4日 総務常任委員会
教育民生常任委員会
- 7日 産業建設常任委員会
全員協議会
地下鉄8号線に係る懇談会（水戸市）
- 8日 予算特別委員会
- 9日 予算特別委員会
- 14日 一般質問
- 16日 議会運営委員会・全員協議会
定例会 閉会
- 22日 東松島市議会議員行政視察来市
- 24日 清水ヶ丘診療所事務組合議会定例会
- 30日 常総衛生組合議会定例会

行政視察来市 宮城県東松島市議会

◆視察事項

ばんどうホコテン等市街地活性化事業について

平成28年3月22日、宮城県東松島市議会会派清風一行4名が、行政視察のために当市を訪れました。商工観光課からの説明後、観光交流センター「秀緑」を視察しました。



第7回 坂東さくらまつりに出店参加

4月2日(土)・3日(日)、岩井公民館駐車場と逆井城跡公園において坂東さくらまつりが開催されました。当市議会では「金魚すくい」を出店し、多くの人に楽しんでいただきました。



平成28年熊本地震とそれに続く地震活動に対する義援金として、坂東市議会から被災地に対し20万円を送ることを決定しました。

編集後記

熊本地震により災害に見舞われ、未だに予断を許さぬ状況の九州地方の皆様には、心よりお見舞い申し上げ、一日も早く平穏な日常生活を取り戻す事ができますようにお祈り申し上げます。

当市では、新庁舎の工事もちだぶ進み、坂東インター工業団地の造成も進み、一部分譲開始となり、各事業につきましても、定例会にて審議され、行われております。市民の皆様方には、議会の活動を理解して頂けるよう、議会だよりを編集していきたいと思っています。今後とも皆様方の声や提案がありましたら宜しくお願い致します。



議会だより編集特別委員会
委員 染谷 栄